

平成30年度教育事業
教員のための
自然の家 プログラム体験会

1. ねらい

- 自然の家の利用経験があまりない先生方が利用方法を知る。
- 学校の目的に適したプログラムの企画・立案・運営方法を学ぶ。
- 新学習指導要領に基づき、集団宿泊活動を各教科等の年間指導計画に効果的に位置付けるための方法を知る。
- プログラム体験を通して適切かつ効果的に指導する力を培う。

2. 実施日

4月7日(土) 9:45~17:00

3. 対象者

国立曽爾青少年自然の家を利用する小学校・中学校教員

4. 参加者 / 募集定員

19名 / 30名程度

5. プログラム(要約)

自然体験活動の経験や、自然の家の利用経験があまりない先生方が、学校利用で来所する際、自信を持って指導に当たれるよう、自然の家職員が施設の利用方法について説明するとともに、職員の指導により事前にプログラム体験をすることで、より学校のねらいに沿った効果的な活動が行えるようプログラムを展開した。

スケジュール

	時間	活動内容		
共通プログラム	9:30	受付		
	9:45	開会式、日程説明		
	10:00	プログラムの組み方、考え方 活動プログラムの各教科等の年間指導計画への効果的な位置付けについて		
	10:20	野外炊事(薪割り、薪組み、火おこし、リスクマネジメント等) ※調理は行いません		
	12:00	昼食(食堂バイキング) ※食堂利用の場合、お一人につき510円必要です。 施設(宿泊棟・研修室・大浴場等)見学		
選択プログラム	13:00 (前半)	晴天	① 亀山ハイキング	② 森林調査隊・丸太切り体験
		雨天	自然発見オリエンテーリング そにとピンゴ	森林調査隊・丸太切り体験
	休憩			
	14:45 (後半)	晴天	キャンプファイアー キャンドルファイアー	フォトテーリング オリエンテーリング

	雨天	キャンプファイアー キャンドルファイアー	クラフト(木のコースター、焼き板)
	16:30	閉会式、アンケート記入	
	17:00	解散	



開会式後、学校の目的に合わせた活動プログラムの組み方や考え方、活動プログラムの各教科等の年間指導計画への効果的な位置付けについての説明を行った。

共通プログラムである「野外炊事」では、リスクマネジメントを中心に薪割り・薪組み・火おこしを行った。その際、まずは参加者にやってもらい、その後、自然の家の職員が説明をし、研修プログラムを進めた。子どもの前でどのように指導をするより効果的であるか、常に意識しながら取り組んでいた。



午後からの「亀山ハイキング」では、滑りやすい岩場や階段を歩く際の注意点や、少雨の際の自然観察のポイント等についても触れながら実施した。

予定より早く所に戻れたので、「自然発見オリエンテーリング」を実施した。雨プログラムとして実施することが多いが、事前に先生方が体験されることが少ない。それだけに、本体験会での経験は貴重であった。

後半、「キャンドルファイアー」「キャンプファイアー」の燭台の使い方や薪組を体験した。基本的な薪組の仕方とプログラムを実施する上で大切にしたい点等について体験していただきながら、研修プログラムを進めた。

5. まとめ

参加者からは、「とても分かりやすい説明で、子どもたちを連れて来た時の具体的なイメージが持てた」「自然の家での活動を教科学習として取り組んでいくことについて、今後考えていきたい」「どのような活動ができるのかをもっと知る為にも、このような機会をさらに作ってほしい」との感想をいただいた。今後、学校現場のニーズをさらに取り入れながら、より充実した事業としていきたい。

(企画指導専門職 上田 考浩)